



# 緊急地震速報の導入について

本学は全国の大学に先駆けて「緊急地震速報」を導入し、緊急放送による避難を開始しました。八草キャンパスだけでなく、自由ヶ丘キャンパス、本山キャンパスにも導入しています。地震災害から身を守るために、全学で取り組んでいます。

## 緊急地震速報の受信

気象庁から緊急地震速報が地域防災研究センターに配信されます。同センターの装置が震度と猶予時間をただちに予想します。

## 大きなゆれがくる前に

### 緊急地震速報により震度5弱以上と予想された場合

緊急地震速報により、それぞれのキャンパスにおいて震度5弱以上のゆれが予想された場合には、防災放送設備が自動的に起動し、全学一斉に「サイレン」が2秒間2回鳴り、引き続き「地震がきます」の緊急放送が流れます。

### キャンセル報、または大きなゆれが起こらなかった場合

キャンセル報または大きなゆれが起こらなかった場合には、その後の対応を放送します。その場合、避難は中止します。

避難WEBでサイレンや緊急情報を聞くことができます。  
<http://dprec.aitech.ac.jp/center/modules/tiny1/index.php?id=34>

### 退避行動

大きなゆれがくるまでの時間は震源の位置によって異なりますが、サイレン・緊急放送からゆれがくるまで数秒から数十秒程度と予想されています。場合によっては間に合わない場合もあります。サイレン・緊急放送があった場合、各自で身の安全を図ってください。どのような行動をとればよいかは、各自が置かれている状況によって異なります。

- |               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>退避行動の例</b> | <b>[屋内]</b> あわてて外に飛び出さない(ゆれがおさまってから)。<br>○机の下に身を隠し、落下物から身を守る。<br>○出入り口やドア・窓を開けて避難口を確保する。 | <b>[屋外]</b><br>○火を消す。<br>○壁や建物から離れ落下物から身を守る。<br>○自動販売機など転倒危険物から離れる。 |
|---------------|--|---|

## 大きなゆれがおさまったら

### 八草キャンパスでの避難行動

**学生**  
講義中の場合は担当教員の指示に従い、「避難場所」へ避難してください。研究室など講義以外の学生も各自、「避難場所」へ避難してください。

**教職員**  
講義中の教員は避難経路図に従い、学生を「避難場所」へ誘導してください。学科事務、関係部署は避難経路図に従い、学生を「避難場所」へ誘導してください。そのほかの教職員は「避難場所」に避難してください。業者は学生に避難を呼びかけた後、各自「避難場所」に避難してください。

### 〈避難場所での行動〉

**学生**  
学科・専攻ごとに集合して、教員の指示に従ってください。点呼により、安否の確認を行います。

**教職員**  
指導教員は学科・専攻ごとに定められた場所に誘導し、点呼により学生の安否を確認してください。

### 自由ヶ丘キャンパス・本山キャンパスでの避難行動

**学生**  
建物内に待機し、教職員の指示に従ってください。

**教職員**  
建物内の人身の安全を確認し、滞留者の氏名・人数を確認してください。講義中の教員は、学生の人数を確認してください。

### 八草・自由ヶ丘・本山キャンパスでの共通事項

**救護活動**  
負傷者はキャンパス内に開設される「救護室」に集まります。自力での移動が困難な人を見つけた場合、学生・教職員は協力して救護にあってください。

**帰宅準備**  
安否確認後、学生・教職員(対応要員以外)・業者とも、原則帰宅となります。帰宅に関する交通情報は、本部から避難場所に知らせます。帰宅困難者は、キャンパス内に開設される「避難所」での待機となります。

# 緊急地震速報とは？

地震による大きなゆれがやってくる前に、地震の発生を知らせてくれる報知システムです。

地震発生後、震源近くの地震計が地震波をとらえ、ただちに決定した震源位置、地震規模(マグニチュード)が気象庁から利用者(愛工大)に配信され、震度と地震波の到達時刻を計算し予想するものです。

愛知工業大学では、八草・自由ヶ丘・本山キャンパスで震度5弱以上の地震が予想された場合、屋外スピーカー・室内放送を通じて学生・教職員に地震の発生を知らせます。

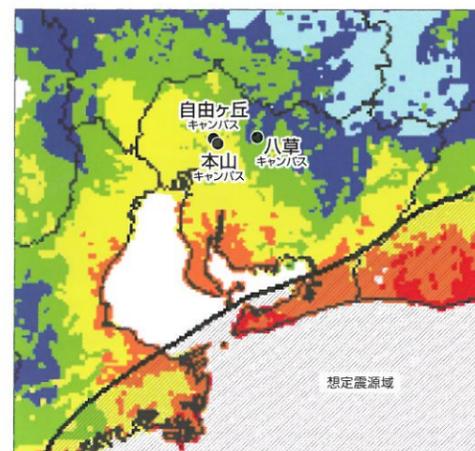


## 緊急地震速報には限界があります！

緊急地震速報には、次のような限界があることをよく理解して行動しましょう。

- 誤報が流れることがあります。
- 震度は予想値です。
- 緊急地震速報が報知されない場合や、間に合わない地震もあります。

## 東海+東南海地震の震度分布図



東海・東南海連動地震が発生した場合、本学では震度5弱以上のゆれが予想されます。各自の家のゆれを、左図で確認しましょう。

### 震度

- 7** 耐久性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある
- 6 強** はわないと動くことができない
- 6 弱** 立っていることが困難になる
- 5 強** 物につかまらなると、歩くことが難しい
- 5 弱** 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる
- 4** 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる

※気象庁「震度と揺れ等の状況(概要)」より